

俳句

砥部句会

休校の暇を守るかに百日紅
糸とんぼ水の匂ひを探りあて
空港のデッキにひとり盆の月
墓仕舞決めたる墓を洗ひけり
猪垣の崩れ廃れし放置畑
容赦なく神馬の像に蟬時雨
突然の雷雨二時間秋に入る
生きたくて逝きたる夫の門火焚く
その中の白の華やぐ百日紅
首筋の蚊の一匹の残暑かな
車座の主役になりて西瓜かな
無味といふ味よろしき清水かな
境内の静寂に揺るる施餓鬼旗
朝採りの茄子の紫紺の冷え伝ふ
にこにここと大きな西瓜抱へ来る

大西 一教
篠崎 伶子
白形 恭子
長曾我部弓子
中岡セツコ
長戸ふじ子
野村タカ子
廣末 榮子
福岡いつ子
福岡 繁平
松林 静子
宮田 弘道
向井 章子
向井 初子
森 安子



消費者力アップ通信

「置き配」でのトラブルに注意！

相談事例

通販サイトに本などを注文した。数日前、置き配での配達完了メールが来たが、商品は届いていない。添付されていた玄関の写真も我が家のものではなかった。

アドバイス

- ◆「置き配」はネット通販を中心に急速に普及していますが、誤配、盗難などのリスクもあります。
- ◆利用する場合は、注文前に利用規約をよく読み、トラブルの際の補償、連絡先を把握しておきましょう。
- ◆配達完了通知などで到着を確認したら、早めに引き取りましょう。



受付時間

8時30分～17時15分

問相談窓口(商工観光課内)

☎(962)2367

消費者ホットライン ☎188

むかしの道具

冷蔵庫

現在は食べ物の保存のために電気式やガス式冷蔵庫を使うことが当たり前になっていますが、昔は水で冷やしたり、自然の氷を利用したりしていました。

明治時代に使われていたのは、「氷箱」と呼ばれる氷冷蔵庫です(写真)。2段になっていて、上段に氷の塊を入れ、冷気が下へ流れることを利用して下段に入れた食べ物を冷やす構造でした。氷も自宅では作れなかったの、氷屋がのこぎりで切り出したものを購入したそうです。

大正12(1923)年にはアメリカから電気冷蔵庫が輸入され、少し遅れて国産のものも登場します。しかし、大変高価だったため一般庶民にはなかなか手が出せず、昭和30年代(1955～64年)まで、「氷箱」は主流であり続けました。



砥部むかしのくらし館所蔵

問社会教育課文化スポーツ係 ☎(962)5952

俳句他